

鶴川図書館大好き！の会 第4回ワークショップ (zoom オンライン) 2021.8.21 (土)
13:30~16:00

1. 自己紹介 (出席者11名)

庄司、高橋、篠田、為我井、小山、守谷、手嶋、石橋、藺田、桜井、鈴木

石橋さん初めての参加。長めに自己紹介があった。

コミュニティービルダーとして鶴川5丁目URに住み、3ヶ月。6月末に鶴川団地でおはなし会を開いた。(20代)

2. 今までのワークショップでの相談を踏まえて、今後取り組んでいくことの確認 (鈴木)

3. 紙芝居ワークショップ報告 (鈴木、庄司)

8月3、6、8日鶴川団地5丁目集会所ふれあいルームで、大好き！の会主催、つるかわ図書こ応援隊共催で行った。小学生1年から6年生まで募集を行い、10名の異年齢の子どもたちが、それぞれ影響しあって、集中して楽しく行えた。ゆめ基金助成。

4. 荒川区立図書館の事例 (鈴木)

直接荒川図書館に質問したことには、昨日やっと返事がきた。パワーポイントで説明。荒川区では、2002~2005年、区内の図書館を非常勤中心で運営する直営方式を整えた。中央図書館、文学館、子ども広場を所管する“ゆいの森”課と、地域図書館を所管する地域図書館課を設置。地域館の常勤は館長役の1名。南千住のみ業務の関係で、10名。

2020年非常勤は会計年度職員制になったが、第1線を担う職員として位置付け、職層により、給与に反映させ、研修も常勤と同じように受講。雇い止めについては、5年ごと4回勤務状況実証の上継続が可能。令和2年3月まで任用された人については、任用制限はないものとしている。現在10年以上勤務している職員が半数。

質疑

(藺田) 荒川区にその方式の図書館はいくつあるのか？

(鈴木) 区内全図書館5館、2サービスステーションがそうである。

(守谷) 町田は、5年ごと更新手続きが必要。勤務評価がある。

(手嶋) 仕事が無くなったという口実の元に、恣意的な首切りがある。

(守谷) 嘱託労とはまだ話し合っていない。労働条件の整備が必要である。嘱託が正規職員の3分の1の給与である現状がある。

5. 鶴川図書館についての提案 (鈴木)

直営で、正規職員1名と会計年度職員(司書)8名、補助職員2名の体制で試算すると500万円減額できる試算。このことから、常勤を3人から1人に減らし、会計年度任用(司書)を増やす提案ができるが、会計年度任用職員との話し合いが必要。

会計年度任用職員の処遇をきちんとしなければならないが、市内ほかの地域館も、直営を維持しながら、この方式を行えば、人件費削減が可能。

市民が関わる提案として。

清水さんの意見。

開館日時を減らす。休館した日や時短の日は、市民が管理し、お話し会や、読書会等で利用する。

一質疑一

(守谷) 鶴川は市内で一番小さい図書館なので500万円程度の節減しかできないにしても、市内図書館全体で考えれば相当額の人件費節減ができる。来年4月から、駅前図書館が指定管理になるが、運営経費を詳細に検証し直営と比較する必要がある。指定期間終了後に直営に戻したい。

(高橋) 右肩さがりの経済状況の中で、司書の大切さはあっても難しい面もあると思う。司書の役割を明確にし、説得力を持たないといけない。

(藺田) 司書の専門性問題にされているのか？

(高橋) 鶴川図書館は、年配者、子供が多いと思うが、そのためにどんなことをしているのか？

(守谷) 司書の専門性は、医者や弁護士などの専門性とは少し性格が異なると思う。膨大な資料を対象とした資料・情報探索の専門性であり、市民の読書欲求にきちんと対応するためには、本の知識はむろん必要であるが、ひとりの司書が森羅万象にわたる資料に精通するなどということはありません。利用者に聞かれて、簡単に「ありません」などと言って諦めさせるのではなく、利用者に実質的に満足して帰ってもらえるような対応をするところに司書の専門性がある。

(藺田) 図書館は、地域が共有する大切な文化装置だ。その装置を市民の要求に合わせて最大限に使いこなせるようにするのが司書の役割だと思う。

(手嶋) 嘱託労との話し合いは、現状では対面は難しいので、zoomで行えるよう、すすめる会から申し込みをしたい。

(篠田) 荒川区の事例は、人件費の問題だけではなく、図書館とは何か？という問いかけの積み上げがあるようだ。演劇や塗り絵など特色ある取り組みが見られる。鶴川図書館の特色は何か。未来である子どもが本に触れる取り組み、紙芝居などでの out Put など。

(石橋) 大学図書館の場合、自身の大学は、日本で初めてインターネットを整備したが、司書が資料検索を担うというより、学生が主体で行った。3DプリンターやAI刺繍マシンなどの使用も。鶴川図書館は、誰が喜ぶかを追っていき、図書館があることが大事であるとなればいい。

(高橋) 小中学校の統廃合が発表され、鶴川3小、真光寺中学校がなくなり、鶴川二中が最新設備を備え、大きくなる構想。そこに近い鶴川図書館は中学生向けも考える

- 必要がある。メディア、IT 関係を扱える常勤または非常勤が求められてくる。
- (桜井) 統廃合については、遠くなって困る等問題もあり、すぐには乗っかれない。
- (藺田) 鶴川図書館の経営問題と合わせて、この機会に公立図書館の役割、根本理念を突き詰めておきたい。
- (守谷) 団地に図書館を置くかは、最終的には市が決めることになるが、UR は、図書館があることは望ましいことか？
- (小山) 憩いの場はありがたい。市と市民の話し合いが大事ではないか。

3、応援まつりについて

前回出たことについて

日時：10月17日(日)。。。コロナの状態で、11月14、21日も予備日に。

- 中高生の取り組み・・・大人がある程度考えてふるほうがいい。
- 古本市・・・富岡さんに相談して、子供の本提供を募るチラシを作る。水越さんにも依頼。
- ニュースポーツ等・・・ニュースポーツ、バルーン、バナナの叩き売り、桃太郎など。
- ビブリオバトル・・・鶴川図書館風に。公開読書会みたいでも。

—討議—

- (高橋) 文化祭的に。ソロバンの“フラッシュ暗算”、多読の会で、英語の本読み。
(多読の会は、為我井さんが代表)
- (為我井) 多読の会は現在年配者中心に10名で。英語の本を読んでいる。オックスフォードの多読用の絵本(注)などを活用。(注)：オックスフォード・リーディング・ツリー<https://www.ojaronlinestudio.com/2020/04/09/eigo-tadoku-oxford-reading-tree-eigotadoku/>
- (守谷) 3) リサイクル本の活用と10) 自費出版の即売会は難しいのでは。
- (藺田) 10) については、本を作るワークショップとして、本づくりの相談に乗ったり、実際にできた個人や市民グループの本を紹介・展示するのはどうか。
- (篠田) 中高生の取り組みについて、「荒川図書館が変わったのはなぜか？」というような調べと発表はどうか？
- (高橋) ことばらんのショートショートを生徒たちに書いてもらっている、これを発表するとか、今回子どもたちが作った紙芝居を発表するのはどうか。
- (藺田) 作品を公募して、「図書館大賞」みたいな賞を出したりしても良い。以前に、図書館を主題にして中高生とショートムービーを作ることを考えたが、中高生を集められなかった。改めてやれたらいい。
- (篠田) 調べた様子を、イベントでは、パネルにしたものを展示したり、発表したり、あと、短いビデオにして、YouTube で見てもらえるようたり、出来ないか
- (高橋) 塾を開いて9年目を迎えるが、鶴川地域の小中学生の文化祭的発表の場となれば、近隣の児童と保護者を集めることができる。

(篠田) 鶴川団地の将来を作る出発点になれば。

(石橋) 中高生が「面白そう」「いけてるな」と思うような、ナチュラルクリエイティブイティを引き出せたらいい。70年代に流行った“ZINE (ジン)” (注) は、薄っぺらい雑誌で、「オレたちの発信」とムーブメントが起こった。このところまた流行っていて、ZINE にするのも面白い。

(注) ZINE とは https://hataraku.vivivit.com/column/zine_design

映画作りも YouTube で見慣れているから取り組みやすいかも。

(篠田) 以前、鶴川二中の文化祭で、図書委員会のメンバーと話した時、図書館にみんなに来てもらうには、どうしたらいいか、というような悩みを持っていた。今は、どうなっているかは分からないが、一つの可能性として、二中の図書委員会と一緒に、荒川区で新たな図書館活動を始めるに至った経緯や、成果を上げた取り組みについて、調べて、議論し、発表するなどが出来ないか。

—担当決めて内容を検討—

- 中高生の取り組み 篠田、高橋、(石橋)
- 祭りアドバイザー 石橋
- 古本市 守谷、郡
- 図書館クイズ 川又
- 作るワークショップ 青木、庄司
- おはなし会 鈴木、柿の木文庫
- ニュースポーツ 藪田、町田レクリエーション連盟
- 音楽 藪田
- 本づくりワークショップ 藪田
- おもちゃ病院 藪田
- きんじょの本棚 (鈴木が責任者を探す)
- 英語の絵本を読みましよう 為我井、高橋、英語多読の会
- ビブリオバトル 清水、山下、桜井、(岩本) プラスハートを借りる？
- リーフレット、チラシ作成 鈴木、(石橋)

.マイク 藪田 スタンドはプラスハートより借りる？

.薪ストーブ 富岡さん引き取り、倉庫に入っている(11月に延びた場合に暖をとるため)

.図書館を考えるブースも作る (担当者未定)

(注: 欠席の方のうち、青木さんと郡さんからは前もって担当していただける旨の連絡あり。清水さん、山下さんには後日了解いただいた。メンバーでない岩本さんには、今後、必要に応じて願います。また、その他の欠席メンバーにも今後協力を仰ぐ予定。)